



編集発行所 990 山形市鉄砲町一丁目 15-64 山形県立山形西高等学校 嬰鳴同窓会 電話 41-3504 振替山形 5-995番

一新された母校

山形西高校の発展に応援を

嬰鳴同窓会長 相沢 榮



七月一日、いよいよ東京―山形を直結する山形新幹線「つばさ」がミニ新幹線として全国に先駆けで開業しました。一日十四回の往復、時速は平均百三十km/h、二時間二十七分で東京に着きます。首都圏もずつと近くなりました。私も七月十二日に開かれる東京支部総会に、この「つばさ」に乗って参加します。また半世紀に一度会場が巡ってくる国民体育大会「べにはな国体」が今年全種目に

七月一日、いよいよ東京―山形を直結する山形新幹線「つばさ」がミニ新幹線として全国に先駆けで開業しました。一日十四回の往復、時速は平均百三十km/h、二時間二十七分で東京に着きます。首都圏もずつと近くなりました。私も七月十二日に開かれる東京支部総会に、この「つばさ」に乗って参加します。また半世紀に一度会場が巡ってくる国民体育大会「べにはな国体」が今年全種目に

互って開催されます。既にスキー、たまた、一昨年完成した校舎は、スケートの冬季大会は盛況裡に終了し、間もなく九月には夏季大会が、十月には秋季大会が全市町村を会場に行われます。県内では駅、自動車道、体育施設が完備し、どんな辺地に行っても素晴らしい施設が目にとまりま

待ち望まれております。私共のクラスの会合等にも利用できるようなことですので、大変楽しみにしております。以上、ふるさと山形の現況、そして母校の様子をお知らせしました。また、同窓会事務局では、木村洋子先生がこの三月で退職されました。先生は、長年母校で教鞭をとられたのち他校へ転任され再び母校へ戻られてからは、事務局長の重責を担っておられました。的確な判断で、多方面で改善を計られ、同窓会活動に大きく貢献されました。代って栗野先生が、引き継がれ、授業の合間をぬって会の要として現在活躍なさっております。

それから、九十周年記念事業としてただ一つ残っていた嬰鳴会館の建設が、ようやく着工されることになりました。一階には同窓会の事務室が、二階には食堂、厨房浴室が、三階にはお茶室と生徒の宿泊室が作られる予定で、人間形成の面で大いに役立つものとして

“集う喜び”

平成三年度同窓会総会

平成三年度同窓会総会は、十一月十七日、オーナマホテルで開催されました。当日は、時節にしては寒くなく、爽やかに晴れあがりまさに「鳥が相和し、睦まじく鳴きかわす」朝をむかえました。

総会に先立ち、記念写真撮影のため、九時までお出掛けをお願いした米寿・喜寿の方々、多い四十七名様をお迎えするにあたり、天候のことが何よりの気掛り

平成二年十一月に当番をお引き受けしてから、二十八年卒と二十九年卒二十六名で実行委員会を結成し、当番学年四百十名に呼びかけ、皆で力を合わせて準備を進めてまいりました。当時は、湾岸戦争たけなわの頃で、先々石油不足になり物価の高騰を招くのではな

会場のオーナマホテルの玄関に皆様元気な足どりでお姿をみせられた時、私達は、お迎えする喜びで胸がいっぱいになりました。

小関教頭先生よりご挨拶と西高の輝かしい現況のご報告をいただき、稲村副会長様の議長で、議事も滞りなく進行し、祝賀式典に移りました。

休日の後、庄司善助先生の力強い乾杯のご発声で会食となりました。舞台では「花笠太鼓」が鳴りひびき、賑やかなうちに、恩師の先生方と東京支部長様、副支部長様よりスピーチを頂戴し、楽しい会食の時間はまたたく間に過ぎてゆきました。

一年に一度、嬰鳴の名のもとに集う、喜びと誇りを胸にいっぱいにしながら、新旧の校歌を斉唱し閉会となりました。当番として、世代をこえて出来るだけ大勢の会員に喜んでいただける様なプログラムを作りたいと試行錯誤を繰り返しました。幸い、多くの方から「とても良い総会でした」と笑顔でご挨拶をいただきました。これも、皆様のご協力の賜と心から感謝申し上げます。

花柳衛優様は、私達二十八年卒が、短い間でしたが同窓でしたので紅花園体の開会式のセレモニーの振付、指導で特にお忙しいところを、お願いしてご出演いただきました。



同窓会員のみなさまには、日頃何かとご支援を賜り、感謝を致しております。

着任以来早いもので三年目を迎えました。素晴らしい生徒諸君と熱意あふる先生方と共に、充実した日々を過ごし得ることをしみじみ幸せと思っております。機会あるごとに生徒諸君には「ガリ勉大いに結構、ただし一辺倒は駄目」

いよいよ、お目出度い米寿・喜

校長 沼澤 豊

の達成率は全国でも群を抜いておられます。ここ数年、現役合格達成を重点課題として取り組んできた成果のあらわれで、今後ともこの勢いを保持していきたいと思っております。また、進路先も文系のみならず理工系にもかなり多くなっております。地域的にも広がりを持つ

合奏コンクール、校内総体、嬰鳴祭などの行事や、各部の定期公演などに対する取り組みもすばらしい意気込みで、圧倒されそうなく熱気と活力を感じます。これらの諸活動を通して、ひたむきで屈託のない姿に魅れ、嬰鳴精神健在な

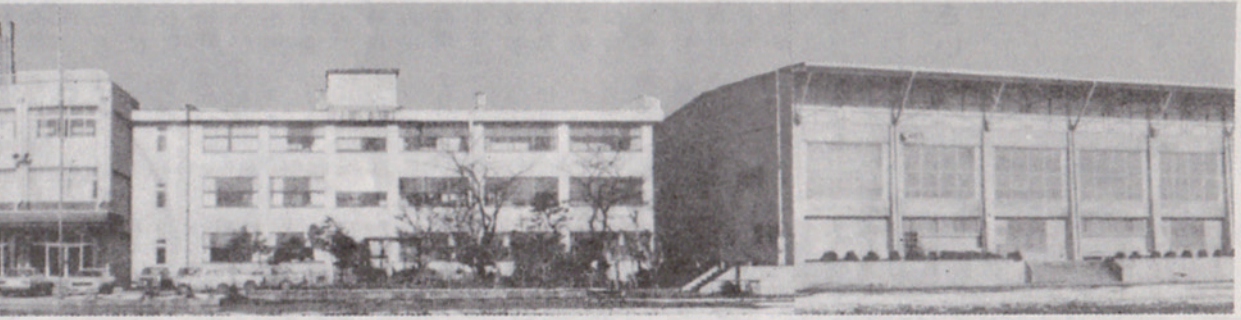
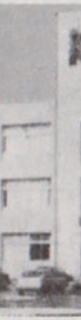
同窓生各位のご健勝とご活躍をお祈りします。今後とも母校を見守っていただき変わらぬご支援を賜りますようお願いいたします。

お名前を読みあげ、お一人ずつお立ちになると、参会者一同より割れる様な拍手で、皆様のご健勝をお祝い申し上げました。代表の阿部ゆき様と三浦カネ様のご挨拶をいただき、美しく年を重ねられた大先輩のお姿に、私共も見習うことが多いと、感慨を深くいたしました。

いよいよ、お目出度い米寿・喜



次総会を楽しみに、嬰鳴同窓会のみならずご盛會を、お祈り申し上げます。 当番学年 本田孝子 (昭和28年卒)



平成4年度東京支部総会

梅雨の晴れ間の好天に恵まれた七月十二日(日)、東京プリンスホテルにおいて東京支部総会が盛大に開かれました。当会場での総会も今年で十一年目を数え、山形からも御来賓として、沼澤豊校長先生、恩師の前川和男先生、小和田仁先生、同窓会本部より相沢榮会長、栗野紘子先生、顧問の大宮文子様をお迎えして、かつてない三〇二名という大勢の方々にお集まりいただき、楽しく和やかなひとときを持つことができました。

久しぶりの校歌斉唱に心はタイムスリップし、懐かしい先生方や友達の顔と共に、高校時代の思い出や、教室の窓から見えていた山々の景色が甦ってくるようでした。異なる世代の方々が、故郷を離れても嚶鳴の名のもとに一堂に会し、声を合わせておられますと、何やら不思議な心強さ、心あたまるものを感じました。

校長先生はじめ御来賓の方々のお話から、在校生の活躍ぶりを伺い、感心したり驚いたり、また、べには南国体に向けて活気づく山形の様子など、ホットなお話は、大変うれしくお土産でした。古武士のような前川先生「磨呂」と呼びびびっていた雰囲気そのままの小和田先生、恩師のお二人の変わらないあたたかなお人柄とお話ぶりに高校生に戻ったようで懐かしさで胸がいっぱいでした。

長年、東京支部を支えてくださった大宮文子様に乾杯の音頭をとっていただき、賑やかな会食が始まりました。アトラクションで迎え入れた女優の花形恵子さんは、失われつつある美しい日本語の大切さを、母から子への語りかけの大切さを、手遊びや自作の絵本で楽しくお話しくださり、その魅力的なお話と言葉の美しさにしばしば入りまわりました。最後に、四十四年卒の榎谷博子さんの御指導で、「見上げてごらん夜の星を」など数曲を全員で歌い、会場一杯に広がる歌声に心地よい余韻を残して総会の幕を閉じました。

五十年卒の私たちは、今年からの参加、しかもお当番の役目をお受けするという事で、最初は困惑してばかりおりましたが、卒業以来それぞれの道を歩み、疎遠になっていた友と連絡をとり合ひ、力を合わせて準備をすることができたことは大きな喜びでもありました。



昭和五十年卒(当番学年) 渡辺久美子・草野育子

わがクラス会

健やかに老いる

昭和十七年卒業

みどり会

昭和十七年三月、私達五年一組四十三人は戦争の最中、第三十九回卒業生として巣立ちました。その時の担任は長岡安太郎先生と、齋藤みどり先生でした。卒業後二年目第一回クラス会を料亭で開きました。大学に進んだ方、職場に家庭にと環境は変われど、皆さんの心は、勝つためにはと、とその中で結婚して子供さんをつれられた。ほのぼのとしたものがありました。

やがて終戦となり物資不足の生活や子育ての苦労があり、皆さんが一堂に集まる機会がありませんでした。昭和四十年に同窓会名簿が作成され住所明確、生活にも少しゆとりができましたので、四十六年から、卒業五十周年を迎えた今日まで、毎年続けて開いていきます。県内五班に分かれ、当番制にして、各班の持ち味をだし、気取らず、地味に、話題も五年間組替なしてしたので、つらかった勤務、授業風景が全員同じ体験だったので、若い時代がよみがえって楽しいクラス会を過ごしました。従って出席者は二十人から三十人の高卒でした。また母校の寄付金が提案されると、一致協力して目標額が達成され、総会当番には率先してお手伝い下さる心強いクラスでもあります。今年には五十周年記念でもありますので、九月に東京組も合流して、盛大な企画を立てています。これからは高齢化社会に入り、どうなるものか予想もつきません。わがクラスには現役で活躍している女医さんが二人おられますので、肉体的精神的両面の健康についてアドバイスをしていただき、健やかに老いる事を願って居ります。

飯坂に集う

昭和三十年卒業

「桜咲く季節? 年前にタイムスリップし楽しく集いませんか」という呼びかけの西高第一回卒の同期会は、平成三年四月二十一日二十二日の一泊二日で福島県飯坂温泉伊勢屋旅館にて開かれました。山形と東京の中間に位置する飯坂は便利の良さも手伝ってか、四十二名の参加となりました。

福島駅には、伊勢屋さんより出迎いの車が手配されており皆さん大喜び。温泉迄の途中桜並木に歓声をあげ、話ははずみ早くも? 年前に逆戻り、お互いの白髪もおさげ髪に見えてきて、旅館迄の時間の短かった事...



山形県高等学校第一回卒業生同窓会 飯坂温泉 伊勢屋 平成3年4月21日

西村山支部総会

新緑が寒河江川の水面に映える五月二十四日、西川町の「玉貴」で平成四年度の総会を行いました。今回の当番は寒河江と西川地区です。親しみがますますと胸にネームプレートをつけました。

当日は朝からの雨でしたが、それも又風情を添えて、日本画のような寒河江川を窓越しに眺めながらの総会でした。

母校から相沢会長さんと栗野先生を来賓としてお迎えし、六十名の会員で午前十時の開会です。竹谷支部長さんが体調を崩されやむなく欠席なされたため、副支部長さんが御丁寧なお手紙を代読

して下さいました。来賓のお二人様からは、新装なった校舎の様子や現在の西高生の人ばりをお聞きし、嬉しさと共に嚶鳴の一員である事の誇りを感じました。

議事がすべて原案通りに可決された後、西川町の国体課長さんから、雪と過疎の問題をかかえながらもアイデアを生かす意欲的な町作りの様子をお聞きしました。お昼の会食には月山ワインの乾杯で季節の山菜料理をいただきながら、学生時代の思い出話でしばし歓談、楽しいひとときです。スピーチは、寒河江市在住の九

十六才の方からお年を感じさせないお手紙に始まり、パワー溢れる二名の先輩はユーモアを交えながらの思い出話に続いて、卒業の歌を声高らかに歌われ、笑いと感動を与えてくれました。嚶鳴の伝統が一人一人の心の支えとなり、私達の胸の奥深く生き続け、同窓生の深い絆を感じさせてくれました。志田周子女医のビデオ放映の後、地区毎の歌声発表、最後に全員で「花」と、おぼろ月夜」のコーラスで閉会いたしました。



会員の皆様の御協力に感謝し母校の益々の発展をお祈り致します。(当番地区 古沢慶子)

翌日は朝食後旅館手配の車で修学旅行しながら、中野不動尊参拝、洞窟の冷たい空に悲鳴をあげたり、医王寺の拝観には歩きながらの話題も途切れる事なく、お互いに写真を撮ったり撮られたりと、昼にはそば屋にて皆さん揃って天ぷらそばを頂き、土産物を買いました。福島駅送迎していただきました。又逢いましょう。近いうちにと約束しながら上り下りのホームに分かれ元気に帰路につきました。伊勢屋さんには大変御世話になりました。御礼申上ります。(長瀬ヒサヨ)

明治生まれのミニクラス会 同窓会事務局に、四月、一通のお手紙が届きました。風薫る美しい季節となりました。と始まるこのお便りは昭和二十六年卒の岩脇(旧姓柏木)三枝子様からの手紙で、岩脇様のお母様方の一寸楽しんで、ミニクラス会の模様をお知らせ下さったものでした。

平成4年度 総会のお知らせ

とき 11月15日(日)

ところ オーナマホテル

会費 5,000円

皆様ぜひおいで下さい。

ご希望の方はクラス幹事または事務局へどうぞ。

鬼籍簿

遠藤 フミ 昭13高女
五十嵐 コト 昭4高女
仲沢 亀代 昭8実科
横沢 キヨ 昭10高女
渡部千代子 昭5高女
染谷 きわ 昭10高女
高橋 菊子 昭11高女
高橋 コウ 昭3高女
鈴木 静枝 昭9女師二
太田 富美子 昭17女師一
高橋 登美子 昭29西高
矢吹 竹 昭10高女
阿部 キヨノ 昭14高女
杉島 信子 昭11高女
高橋 峰 昭15高女
荒 松子 昭38西高
三浦 まさ 昭5高女
市村 マツ 昭12高女
志賀 とく 昭2高女
松井 美知枝 昭7高女
久坂部 和子 昭18女二
小嶋 ヨス 昭3高女
三条 トキ 昭10女二
大石 と志子 昭4高女
蜂屋 カツ 昭10高女
白田 ツヤ 昭11高女
高橋 チヨノ 昭6高女
小笠原マサエ 昭8女二
松原 きん 昭9女本
白鳥 摂子 昭19高女
高橋 たけ 昭5高女
松葉 タイ 昭23高女
遠藤 美栄子 昭22高女
高野 豊子 昭8高女
保科 みつよ 昭4高女
小泉 ミサヲ 昭5師一
渋谷 テン 昭3高女

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

職員動向

木村 洋子(理科) 退職
渡部 静子(家庭) 退職
鹿野 陽子(理科) 退職

高橋 静夫(理科) 東根工高より
神保 俊(数学) 山形東高より

平成3年度 校内合唱コンクール

〈課題曲〉
A、「美しい秋」
B、「ひとりの朝」
C、「Ave verum corpus」

祝う会会場にて



徳永幾久氏 勲三等瑞宝章叙勲

さる四年二十九日、山形県立米沢女子短期大学名譽教授、徳永幾久氏(昭和十二年高女卒)が、教育に対する功勞により「勲三等瑞宝章」を叙勲されました。

後輩たちの活躍 平成3年度部活動報告

バスケットボール
藤井・高野杯第三位
地区高校総体第三位
県新人大会 第三位

Table with 4 columns: 私立大学合格者数(名), 国立大学合格者数(延べ人数), 国立短大合格者数, 私立短大合格者数. Lists various universities and their student counts.

恩師訪問記 「母校復興の父 山本林先生を訪ねて」

山形駅から特急で3時間。秋田駅の食堂で早昼をして男鹿線の土崎駅に降りたのが十一時すぎ。先生の長男のお嬢さんが、地図をみて送ってくださったのをタクシーの運転手に見せたらバツチリ山本先生宅の前で止まってくれました。チャイムを打すと美人で都会的な感じのお嬢さんが笑顔で迎えてくださいます。



先生は、「山形は懐かしい」とおっしゃって、ゆっくりとしかもはつきりした口調で、「第一高女は、私が校長になって初めての学校だった。昭和19年に赴任してみたら火災に遭って校舎がない。生徒たちは寄宿舎のボロ畳の上に座って授業を受けておった。可哀想だったね」と話を切り出されました。

訪問者 中原 えい子 鈴木 貞

平成3年度経常費決算

1. 収入の部

(単位:円)

Table with 5 columns: 項目, 本年度予算額, 本年度決算額, 増減(Δ), 摘要. Rows include 入会費, 会費, 雑収入, 計.

2. 支出の部

(単位:円)

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 決算額, 残額, 摘要. Rows include 総会費, 会議費, 後援費, 記念品費, 印刷発行費, 事務費, 通信費, 慶弔費, 交通費, 諸費, 子備費, 計.

3. 差引残高

(総収入) - (総支出) = (差引残高)
1,331,716円 - 1,328,167円 = 3,549円

平成4年度経常費予算

1. 収入の部

(単位:円)

Table with 5 columns: 項目, 前年度予算額, 本年度予算額, 増減(Δ), 摘要. Rows include 入会費, 会費, 雑収入, 計.

2. 支出の部

(単位:円)

Table with 5 columns: 項目, 前年度予算額, 本年度予算額, 増減(Δ), 摘要. Rows include 総会費, 会議費, 後援費, 記念品費, 印刷発行費, 事務費, 通信費, 慶弔費, 交通費, 諸費, 子備費, 計.

平成3年度 基本金決算

I. 収入の部

- 1. 前年度繰越金 6,557,597円
2. 前年度経常費より 150,223
3. バッチ代立替え分 75,000
4. 総会残金 320,386
5. 総会お祝い 253,000
6. 利子 定期預金利子 266,987
普通預金利子 16,908
7. 名簿還元金 264,980

7,905,081円

II. 支出の部

- 1. 総会補助 500,000円

500,000円

III. 差し引き残高

7,405,081円

校内理事
関野和枝・武田和恵
会報編集委員
鈴木貞・川崎礼子・大宮文子・中原えい子・渡辺民子・清野和子・武田美知・青木智子・菅野ふみ

編集後記
今回より嬉しいことに、会報編集に携わって下さる方の数が増えました。年々忙しくなる校務の傍らの編集業務のため、皆様に満足していただける会報が出来るかどうか心配でしたが、編集委員の方々の熱意とご協力によって何とか第十八号を完成することが出来ました。深く感謝申し上げます。
「沢山の人が読んでほしい」とそれが編集に携わった人たちの願いでした。クラス会などの機会に御出席の皆様にご報告をお配りいただければ幸いです。必要枚数を事務局までお知らせ下さい。

平成3年度維持会費納入状況

(1991年4月~1992年3月の間に納入されたもの)

平成元年度分

西高 S51 4 柏倉 千恵子

平成2年度分

女師 S10 一部 浅香 玉乃 南高 S29 5 渡辺 京子 西高 S48 4 深瀬 恵子
高女 S22 来生 憲子 西高 S42 2 庄司 範子 S50 2 池野 一子
南高 S29 1 星 幸子 S47 6 伊藤きみ子 S55 4 齋丸 俊恵

平成3年度分

女師 S8 二部 三浦 カネ 高女 S19 1 尾原 吉 西高 S37 2 田口きみ子
S9 二部 大築 ヨシ 2 庄司志満子 3 佐藤 紀子
S10 一部 浅香 玉乃 S20 1 菅原 タカ S38 1~5 吉田 和子
二部 高橋 節子 2 阿部 英子 S39 1~5 川崎 礼子
S11 二部 大沢 たか 3 小嶋 綾子 S42 1 野村・内山
S12 一部 佐藤 とく S20 1 中原えい子 2 庄司 範子
S13 一部 荒井八重子 2 大築美枝子 4 元木 昇子
二部 鈴木 初枝 3 高嶋 光子 6 藤田 靖子
S14 一部 鈴木 芳 S21 1~2 橋詰 絢子 S43 1~6 長谷川方子
二部 柳野千代子 S22 来生 憲子 S44 1 清野 和子
S15 一部 高内キクエ S22~24 阿部 明子 S45 1~6 吉村美栄子
二部 上嶋 西代 (S18入学) S46 1 山田 美恵
S16 一部 杉山 ひで S23~25 須貝 清子 (S19入学) 2 遠藤 節子
二部 永沼 基 3 青木 智子
S17 一部 太田富美子 南高 S26 1 細谷 貞子 4 石先由美子
二部 小林 ちよ 2 土屋 幸子 5 田中紀美子
(1~2) 3 曾根田 観子 6 和田 智子
S18 一部 五十嵐テル子 4 中村あさ子 S47 1 矢野あい子
二部 杉本・江口 S27 1~5 安藤 朋子 3 里見・山岸
(1~2) S29 1 星 幸子 6 伊藤きみ子
高女 S6 1~2 大沼・富樫 S29 3 吉田 正子 S48 4 深瀬 恵子
S7 1~2 朝倉 カツ 4 小島恵美子 5 中山 恭子
S9 1~2 杉浦 ゆき 5 渡辺 京子 S49 4 河野 知子
S10 1~2 佐藤 しま 西高 S30 1~4 渡辺 康子 S50 2 池野 一子
野々山チヤ子 S31 1 松浦 英子 S59 4 多田裕美子
S12 1~2 中村 チエ 4 倉金 苺子 S60 3 山口 茂登
S13 1~2 鈴木 操 S32 1~4 鈴木 公子 5 原田 清子
S14 1~2 原田 光 専攻 堀米 弘子
S15 1~2 尾形 好子 S34 1 加藤 静子
S16 1~2 神保・奥泉 3 日野 紀子
S17 1 斎藤 美代 4 深瀬よし子
2 樋口 寿子 S35 1~5 佐々木昌子
S18 1 相馬 弘子 S36 1~5 長岡 玲子
2 高柳 啓子 S37 1 松田 克子

平成4年度以降分

高女 S11 1~2 阿部真佐子(平成4) 西高 S32 1~4 鈴木 公子(平成4)
S17 2 樋口 寿子(# 4~13) S39 5 長谷部・高村(#)
南高 S29 2 平田 洋子(# 4~25) S59 4 多田由美子(#)
4 小島恵美子(# 4) S61 3 山口 茂登(#)
5 原田 清子(#)

1991年4月~1992年3月納入分 延195クラス分390,000円

平成3年度 会務報告

- 平成3年 4月 8日 入学式
5月 8日 会計監査
9日 総会当番幹事・正副会長・事務局打ち合せ
17日 第1回評議員会(於:西高会議室)
7月 7日 東京支部総会(於:東京プリンスホテル)
12日 新名簿完成
26日 第2回評議員会、第1回クラス幹事会(西高図書館)
10月 23日 総会当番幹事・正副会長・事務局打ち合わせ
11月 17日 平成3年度同窓会総会(於:オーヌマホテル)
12月 16日 総会当番幹事引き継ぎ会
平成4年 1月 22日 新当番幹事会(於:西高会議室)
3月 7日 同窓会入会式
8日 卒業式